

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	5
事業名	コミュニティバス事業費	会計	款	項	目
		一般	2	1	12
施策	1	安全・安心なまち	課名	政策課	
	1-2	町民参画のまちをつくる	係名	政策係	
	1-2-2	協働によるまちづくりの推進			
主要施策	④公共交通機関の充実				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者が公共交通としてのオレンジバスを利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジバス3台による運行委託 ・地域公共交通会議によるルート・ダイヤの検討 ・バスロケーションシステムによる利便性の確保と利用者データの把握 			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	バス利用者数		101,157	103,619	人	→		
2	※公共交通機関(三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス)の利用率		次回アンケート調査で把握	次回アンケート調査で把握	%	↑			
3									
4									
5									
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					66,314	77,637	74,154		
財源内訳	直接事業費 A				66,314	71,037	66,894		
	うち一般財源				53,602	58,845	55,291		
人件費(千円) B					0	6,600	7,260		
内訳	一般職員(人・千円)				0	1	6600	1.1	7260
	臨時職員(人・千円)				0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	利用すべき対象者に合わせてルートダイヤを見直していく必要がある。他の交通手段と合わせた交通網を更に検討する必要がある。
②H30年度に実施した取り組み	オレンジバスは、通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者の日常生活の移動手段として利用できるよう、オレンジバスの乗り方教室、利用啓発を行った。	④今後の改善計画	オレンジバス3台のうちの2台を更新し、残りの1台について方向性を定める。